

RI会長メッセージ



2000-01年度国際ロータリー会長

フランク J. デブリン

私達の使命は、私達のクラブ、地域社会、そしてあまねく広く世界において、意識を喚起し——進んで行動を、です。

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん：

新しい世紀、新千年紀に入ってゆくこの2000-01年度、あなた方の会長として、私は痛切に意識しております——即ち私達のクラブ、私達の地域社会、そしてまた私達のこの世界では適切に対処されぬまま、放置されている問題があまりにも沢山ある、ということです。ロータリアンとして私達はこれを見過ごし無視しておけるのでしょうか、それともこれに対処して何か出来るのでしょうか。

21世紀を迎えるにあたり、またロータリー100周年を目前に控えて、私達がこれに対して何かをする、ということを一優先課題に取り上げる様、私は望みます。

私達の第一歩は、先ず物事を見定め、私達のクラブ、私達の地域社会、私達のこの世界が直面している諸問題について明確に意識することでなければなりません。問題意識は問題解決に到る欠くべからざる第一歩です。人々が気付かずに捨てておけばおくほど何の行動も起こされず、問題は未解決のまま残ります。

意識するという事は必ずしもそう易いことではありません。みんなが言うほど事態はそんなに悪くないのだとか、そのうち自然に解決するさとか、つい信じたくなるかもしれません。

私達のクラブ、地域社会、更に広く世界において、私達が直面している問題について何かをしようと望むなら、私達は絶えず意識を喚起することが必要だと気付きます。ひとたび厳しい第一歩を踏み出せばもう後へは引けません。意識を喚起することが問題に対してロータリアンの目を開かせます。ロータリアンは、問題に対して目が開けば、話し合います、討論します、そして取るべき最善の方策について検討します。また私達の方策に賛同してくれるロータリアン以外の人々や他のグループを探し出し、そうして進んで行動を起こすのです。

ロータリアンにとって、この二つの作業は絶対不可分のものです。意識しても行動しなければ役に立ちませんが、はっきり意識しなければ行動する事もできません。意識と行動が結びつけば、ロータリアンは私達のクラブ、地域社会そして私達の世界における危急の要請を見定め、これに適確に対応することができます。また行動の道しるべとなる意識あってこそ私達の持てる資力を、最もそれを必要とする所へ確実にさし向けられるのです。

ロータリアンとして、私達はクラブを強化する潜在力を持っており、また世界29,500余の地域社会において、広く公共の支持を受けて、問題を解決に導くという信望を背負っております。私達はまた、私達の人道的活動を、地球上隅々まで推し進める大規模な国際的ネットワークを持っているのです。

2000-01年、相共に協力するにあたって、さあ皆さん、決して忘れてはいけません：私達の使命は、私達のクラブ、地域社会、そしてあまねく広く世界において、意識を喚起し——進んで行動を、です。

意識を喚起し

あなたのクラブで

あなたのクラブを強力に保つためには、会員を増やしこれを維持しなければならぬということについて意識を喚起し、進んで行動を起こしましょう：即ち

- ・毎例会出席の意欲を会員に持たせるため、より一層興味あるプログラムや卓話者を用意する
- ・あなたのクラブの奉仕プロジェクトとその成果に関する広報を促進する
- ・有望な会員候補者にロータリー会員の資格を得る特典についてセミナーを計画する
- ・国際ロータリーから得られる資源について会員に情報を提供することを目的とした会合を開く
- ・地域社会におけるあらゆる血脈の人、異民族のグループもあなたのクラブでは平等に受け容れられると保証する
- ・国際ロータリーの委員会と実行グループの助力を求める

あなたの地域社会で

あなたの地域社会における最も緊急対応を要する課題について意識を喚起し、進んで行動を起こしましょう：即ち

- ・少女、婦人向けの教育プログラムを通して世界の人口問題を説く
- ・身体障害者が職を得られる様に援助する
- ・犯罪根絶と暴力予防を
- ・飢えている人に食糧を
- ・あなたの奉仕力を拡大する為他の団体やクラブと、そしてまた地区レベルで協同步調をとる

私達の世界で

自国から遠く離れた地域における緊急のニーズに意識を喚起し、それに応じて進んで行動を起こしましょう：即ち

- ・ポリオ・プラス活動を支援する
- ・識字率の向上、清浄な水、低価格の仮設住宅（シェルター）建設の促進をはかり、また失明や飢餓の軽減という様な諸々の危機的問題に取り組んでいる世界社会奉仕プロジェクトをやり遂げる
- ・村落金融やその他女性援助プログラム等を通して発展途上国の貧困絶滅に取り組む
- ・これらの人道的プロジェクトの活動領域を広げるためにロータリー財団補助金を申請する
- ・何処であろうと最も急を要する災害救援に協力する
- ・他の団体と協同して他国の奉仕プロジェクトに取り組む

進んで行動を

2000-01年度、皆様の使命に、重要な以下の強調事項を含めて下さるようお願いいたします。

- ・ポリオ・プラス、識字率向上、清浄な水、低価格の仮設住宅（シェルター）、飢餓救済、地球環境保全、危機にある子供たち等々、その他の関心事項で国際ロータリーおよびロータリー財団既存の推進策を引き続き積極的に重視していくこと
- ・会員増強および退会防止に引き続き積極的に取り組むこと
- ・広報活動と報道機関向けキャンペーンを引き続き積極的に展開すること
- ・クラブレベルと地区レベルで他団体と提携すること
- ・次の関心事項に新しい角度から引き続き積極的に取り組むこと
 - ・人口と開発に関する問題——少女、婦人向け教育プログラムの重点的推進によって…
 - ・貧困に関する問題——女性と子供の経済状態を向上させるための村落金融その他の手法に焦点を合わせて…
 - ・犯罪根絶と暴力予防
 - ・身体障害者の就職
 - ・失明の回避
 - ・飢餓
 - ・災害救済

Rotary International
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201 USA

2000-01年度国際ロータリー会長

フランク J. デブリン氏の経歴

フランク J. デブリン
(アナウアク、D.F.、メキシコ)
2000-2001年度
国際ロータリー会長
1996-1998年度
ロータリー財団管理委員会委員
1986-1988年度
国際ロータリー理事



フランク・デブリン氏は、メキシコで工学製品の小売、販売、製造を手がけるデブリン光学グループの社長・取締役で、メキシコのチワワ州シウダド・ファレス市および米国テキサス州エルパソ市で成長しました。同氏は、テキサス大学エルパソ校に入学、(メキシコ・シティーに所在する) Instituto Panamericano de Alta Direccion de Empresasから経営管理学の学位を取得、卒業されました。同氏は又、メキシコ検眼医及び眼科医協会付属検眼医養成大学の卒業生です。

デブリン氏は、メキシコ眼科医及び検眼医協会の元会長並びに全国工業会議所の元会頭です。氏は、メキシコ赤十字及びグッドウィル工業の全国理事、並びにメキシコ結核・肺臓協会の財務長を務められています。氏は又、メキシコ・シティーのYMCA (キリスト教青年協会)、全国視力障害者援助協会並びに全国メキシコ公共及び民間業務管理団体の理事として活躍されております。氏は、メキシコ政府の身障者健康推進委員会の諮問委員で、また全国メキシコ銀行およびインベルラト銀行の理事を務められています。

国際ロータリー役員として、デブリン氏は、世界34カ国のロータリー会合において講演され、「世界社会奉仕(WCS)」といった多くのロータリー・プログラムを推進されてこられました。氏は、現在、メキシコで最大の古眼鏡銀行の設置に当たっておられます。この銀行は、今後、試験的な世界社会奉仕プロジェクトとなります。

デブリン氏は、1970年以来、メキシコ・シティーのアナウアク・ロータリー・クラブの会員です。デブリン氏は、地域雑誌、Rotarismo en Mexicoの創刊編集者で、国際ロータリーでは、ロータリー財団管理委員、国際ロータリー理事、国際協議会グループ・リーダー、委員会委員長および委員、及び地区ガバナーとして奉仕されました。1995-96年度には、ハーバードG. ブラウン会長の特別補佐を務め、カナダ、アルバータ州カルガリーの1996年国際ロータリー年次大会のアドバイザーでした。現在氏は、2000年ブエノスアイレス大会委員長、ロータリーの夢委員会委員、ポリオ・プラス・メキシコ担当顧問を務めておられます。デブリン氏は、ロータリー財団からその国際人道的および教育プログラムの支援活動に対し、財団功労表彰状並びに特別功労賞を受賞されています。